

施工の前に

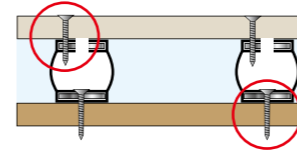
e-WOOL防音システムは施工の良否によって本来の遮音性能が十分発揮されないケースがあります。遮音性能を十分発揮させるため、以下の点に注意し、正しく安全に取り付けてください。

ご注意

- e・ライン、捨て貼り合板、フロア仕上材は、確実に壁より離して施工してください。
- 捨て貼り合板と合板の接続部は、確実に離して固定してください。床鳴りの原因となります。
- e・ラインはフレームが薄い金属製ですので必ず保護手袋をご使用ください。手を切る可能性があります。
- e・ラインのフレーム部に乗ったり、重量物を載せたりしないでください。
- e・ライン施工後に重量物を落としたり、投げたり、一箇所に集中して仮置きしないでください。e・ライン支持フレームが破損する恐れがあります。
- 木製幅木をご使用の際は、クッション付き幅木をお選びください。

e・ラインの施工

e・ラインは片側に穴が空いています。穴が空いている面を仕上げ側を使用します。仕上げ側は穴を避けてスチール部に軽天ビス止め



下地側は穴を通してスチール部ごとコンパネビス止め

<固定方法>

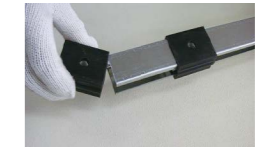


下地が木質の場合、e・ラインゴム部の穴からコンパネビスまたは同等品をインパクトドライバーで固定してください。



下地がコンクリートの場合、e・ラインゴム部・軽量材の裏側に接着剤を塗り固定してください。

<切断方法>



e・ラインの切断時は、合わせ位置の印字と反対側からカット後、ゴムを外し、切った端部にゴム部を差し込みます。



天井



天井面に捨て貼り合板を施工後、e・マットを貼り付けます。  
※天井面施工の場合、施工性の良いe・マットの厚みは1.4mmになります。



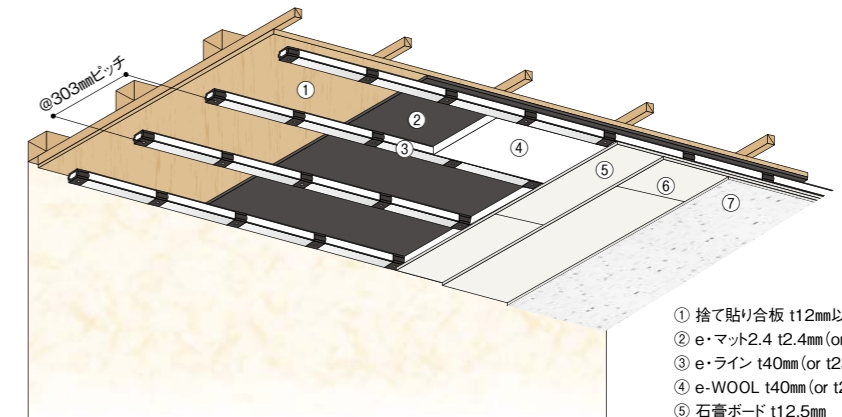
e・ラインを303mmピッチで施工します。



e・ライン間にe-WOOLを充てんします。



石膏ボードを2重貼りしてください。  
※必ず下貼りの石膏ボードとジョイント位置をずらして固定してください。  
その後、岩綿吸音材などの仕上材を施工して完成です。



- ① 捨て貼り合板 t12mm以上
- ② e・マット2.4 t2.4mm (or t1.4mm)
- ③ e・ライン t40mm (or t25mm)
- ④ e-WOOL t40mm (or t25mm)
- ⑤ 石膏ボード t12.5mm
- ⑥ 石膏ボード t12.5mm
- ⑦ 岩綿吸音板 t12mm

壁



壁面に捨て貼り合板を施工後、e・マットを貼り付けます。



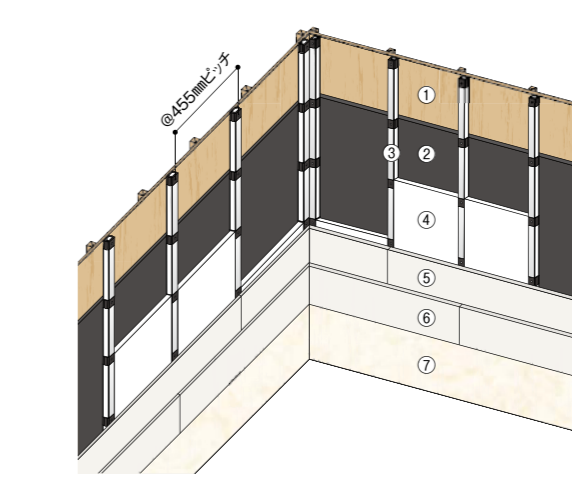
e・ラインを455mmピッチで施工します。



e・ライン間にe-WOOLを充てんします。

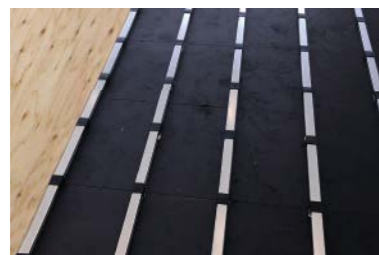


石膏ボードを2重貼りしてください。  
※必ず下貼りの石膏ボードとジョイント位置をずらして固定してください。  
その後、壁紙などの仕上材を施工して完成です。



- ① 捨て貼り合板 t12mm
- ② e・マット2.4 t2.4mm (or t1.4mm)
- ③ e・ライン t40mm (or t25mm)
- ④ e-WOOL t40mm (or t25mm)
- ⑤ 石膏ボード t12.5mm
- ⑥ 石膏ボード t12.5mm
- ⑦ 壁仕上げ

床



床面に捨て貼り合板を施工後、e・マットを貼り、壁際に常設荷重がある場合は、壁際に木根太を入れ、内側に303mmピッチでe・ラインを施工してください。  
※e・ライン、木根太は壁から2~3mm離してください。



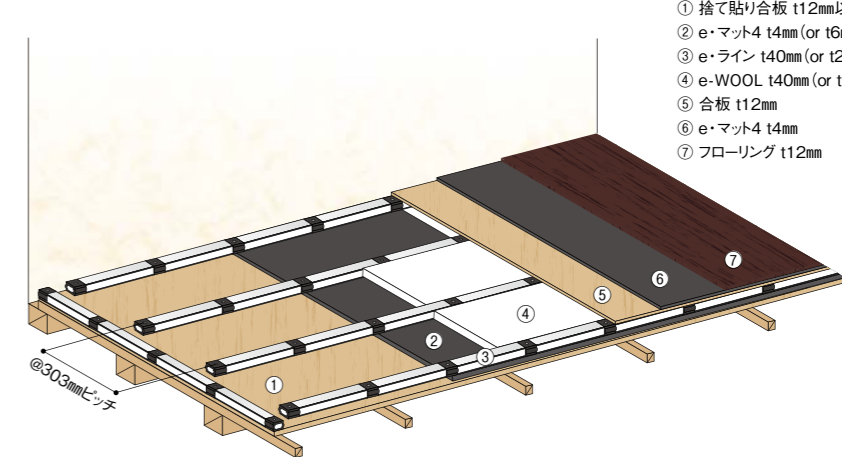
e・ライン間にe-WOOLを充てんします。



壁と合板を2~3mm離し、12mm以上の合板を捨て貼りしてください。  
※壁と床の縁が切れていないと、振動が伝わり遮音性能が低下します。捨て貼り同士は、必ず2~3mm離して固定してください。床鳴りの原因となります。



合板の上にe・マットを貼り、フローリングなどの仕上材を施工して完成です。



- ① 捨て貼り合板 t12mm以上
- ② e・マット4 t4mm (or t6mm)
- ③ e・ライン t40mm (or t25mm)
- ④ e-WOOL t40mm (or t25mm)
- ⑤ 合板 t12mm
- ⑥ e・マット4 t4mm
- ⑦ フローリング t12mm